



「植物図絵」

武雄市図書館・歴史資料館 企画展

# 「皆春齋」

か い し ゅ ん さ い

皆春齋は、中世から武雄に居を構えた武雄鍋島家(ただし20代までは後藤を称す)の28代、鍋島茂義(1800~62)の雅号です。近海へのロシア船の出没などによって、日本が海防の強化を迫られていた時代、軍事、医学、化学など幅広い分野で蘭学の導入に努めた人物として知られます。

領内の政務に加えて、西洋文明摂取の推進。茂義の日々が多忙なものであったことは想像に難しくありませんが、なお多くの趣味も楽しんでいたことが、古老の聞き書きからも伺えます。狩猟、能楽、絵画、鳥・虫等の飼育、鉾石採取、花卉の栽培など、その興の向くところは多岐にわたります。

絵画についても狩野派の流儀を学び、若いころから晩年まで折々に筆を取っていますが、伝統的な手法に止まらず、飼育・栽培した動植物の写生図など、写実的な柄も手がけたようです。今回の企画展では、茂義が描いたとされる絵画とともに、茂義所用の絵の具のほか、塚崎城三ノ丸窯で焼成されたと思われる筆立て・筆洗い・絵の具皿などの絵道具を展示し、鍋島茂義の絵師としての一面をご覧頂きたいと思ひます。



「寒月梅花図」



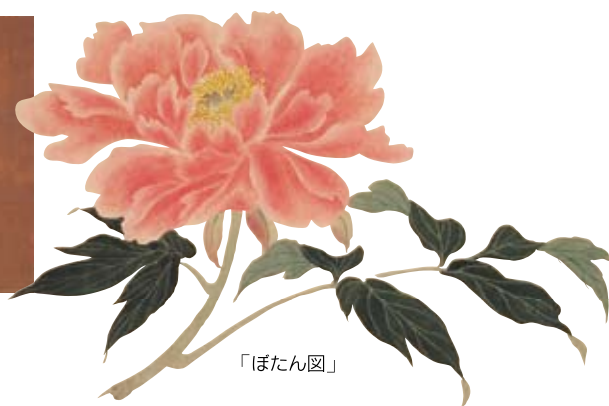
「五聖図」



「鶴図」



「富嶽図」



「ぼたん図」



## 武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304番地1

TEL 0954-20-0222 FAX 0954-20-0223

URL <http://www.epochal.city.takeo.lg.jp>

mail [epochal@epochal.city.takeo.lg.jp](mailto:epochal@epochal.city.takeo.lg.jp)